



平成 28 年 9 月 28 日

各 位

会 社 名 川崎化成工業株式会社  
 代表者名 取締役社長 中川 淳一  
 (コード：4117、東証第 2 部)  
 問合せ先 常務取締役経営管理部門長 大坪 孝幸  
 (TEL. 044-540-0110)

平成 29 年 3 月期 第 2 四半期 (累計) 及び通期業績予想の修正 (連結・個別) に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、本年 5 月 11 日に公表した平成 29 年 3 月期 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日) の第 2 四半期 (累計) 及び通期の業績予想を下記の通り修正するのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期 第 2 四半期の業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績

単位：百万円

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	6,800	5	40	10	0 円 26 銭
今回修正予想 (B)	6,700	△50	△10	△30	△0 円 78 銭
増 減 額 (B - A)	△100	△55	△50	△40	
増 減 率 ( % )	△1.5	—	—	—	
(参考) 前年同期実績	8,553	65	87	48	1 円 24 銭

(2) 個別経営成績

単位：百万円

	売 上 高	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	6,750	40	10	0 円 26 銭
今回修正予想 (B)	6,650	△15	△35	△0 円 90 銭
増 減 額 (B - A)	△100	△55	△45	
増 減 率 ( % )	△1.5	—	—	
(参考) 前年同期実績※	—	—	—	—

※平成 28 年 3 月期第 2 四半期の個別経営成績は開示していません。

2. 平成 29 年 3 月期 通期の業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(1) 連結経営成績

単位：百万円

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	14,700	310	400	330	8 円 53 銭
今回修正予想 (B)	13,900	40	135	95	2 円 46 銭
増 減 額 (B - A)	△800	△270	△265	△235	
増 減 率 ( % )	△5.4	△87.1	△66.3	△71.2	
(参考) 前期実績	15,617	30	129	121	3 円 13 銭

## (2) 個別経営成績

単位：百万円

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	14,600	400	330	8 円 53 銭
今回修正予想 (B)	13,800	125	85	2 円 20 銭
増 減 額 (B - A)	△800	△275	△245	
増 減 率 ( % )	△5.5	△68.8	△74.2	
(参考) 前期実績	15,513	121	113	2 円 93 銭

## 3. 業績予想修正の理由 (連結・個別)

業績予想の算出に当たりましては、石油化学製品の市況に影響を与える原油価格は、期を通して緩やかに上昇すると想定しておりましたが、実勢は第1四半期中に下期想定レベルまで急上昇した後に概ね横ばいとなり、下期も現行水準のまま推移するものと見込んでおります。また為替レートは、前期末に円高サイドに振れたものの下期には前期実績並に移行すると想定しておりましたが、実勢は円高が一段と進行しており、下期も現行水準のまま推移するものと見込んでおります。

当第2四半期の経営成績は、無水フタル酸の販売時期ずれ等に伴う減産並びにナフトキノン及びコハク酸の減販、加えて退職給付債務の割引率見直しによるマイナス影響により各利益段階において期首予想値を下回り損失計上となる見込みであります。

一方、第3四半期以降については、実勢を鑑み為替レートを 100 円/\$に見直した結果、期首業績予想策定時に見込んでいた原油価格上昇に伴う原料・製品の受払差額が享受できないこと及び輸出の手取が減少することによるマイナス影響が大きく、通期の経営成績は、各利益段階において期首予想値を大幅に下回る見込みであります。

なお、通期の経営成績は為替影響により前期並の利益水準に留まる見込みではありますが、機能化学品は期首の予想通り堅調な販売となり前期を上回る見込みであり、当社が目指す「機能化学品の川崎化成」の確立に向けた取り組みについては順調に進展しております。

(※) 上記予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上